



たづがね (鵲が音)

「笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい」の西北台っ子



2学期もご理解ご協力ありがとうございました

1年間で一番長い学期である2学期が明日で無事に終了できそうです。2学期は【学習・生活の活性化】を中心に子どもは教職員、保護者、地域、関係機関の協働によって充実した学校生活を過ごすことができたと感じています。学習では授業の中で「学びタイム」を軸に、みんながわかる授業を目指しました。行事の代表として、運動会で鼓笛や各団が気持ちを一つにして主体的に取り組みました。また、キャリア教育として、ブルーキャッツかほくの方々や五輪メダリストから「挑戦」「感謝」など人生において大切なキーワードを学ばせていただきました。学びの基はまだたくさんありますが、これら一つ一つが子どもの良い学び・良い成長の一助になったことでしょう。私たち教職員は、日々子どもの成長を感じながら子どもからエネルギーや喜びをもらい孤軍奮闘しています。

新年を迎えるまで1週間ほどあります。今年1年の「できるようになったこと」や「分かるようになったこと」を自覚しながら、また、課題についても振り返りながら、新たな年での目標を考えてほしいです。みなさん、良い年をお迎えください。

学力と体力はつながっている!?

あるテレビ番組で、クイズ番組等に出演している松丸亮吾さんが、「学力と体力には関係があって、1週間に体育の授業が3時間のカリキュラムと5時間のカリキュラムで比べると、体育の時間が多い方が学力が高い」と言っているのを聞き、少し調べてみました。

はっきりと相関があるとまでは言えないようですが、次のような傾向があると考えられているようです。

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」の結果とスポーツ庁の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を重ねると、「**運動ができる子どもは勉強もできる**」という傾向があることがわかっています。(多治見市教育委員会 教育研究所 スポーツ庁「体力と学力の関連についての分析事業」調査結果より)

5年生の保健の学習でも「心と体はつながっている」と学習します。また、昔から「文武両道」という言葉があったり、日本の教育では「知・徳・体をバランス良く」学ぶことが基本になっていたりします。

運動をすることで、「思考力」「集中力」「認知機能(記憶力や言語力、判断力)」が高まるとも言われています。小学校の時期は**運動能力を高めるには適した時期**です。プレゴールデンエイジ(5~9歳)やゴールデンエイジ(9~12歳)と言われている時期です。(スキヤモンの発達・発育曲線より)運動の習慣を身に付け、運動能力を高める時期は、今です。今がベターな時期です。

冬休みは、クリスマスや年末年始と子どもにとってのお楽しみごとがたくさんあります。気温も低く、天候も良くない日が多いかもしれません。室内で過ごすことが多くなりますが、ぜひ子どもと運動やスポーツ、体を使った遊びをしてみませんか。

複式学級解消に向けて

「令和8年度4月 羽咋小学校と統合する」ことで複式学級の解消を図る、という羽咋市教育委員会の方針が、去る12月3日にPTA臨時総会にて保護者より了解を得ました。そして、12月市議会での質問に対しても同様な返答がなされ、新聞にも記事として掲載されました。

西北台小学校は、平成元年度に旧上甘田小学校と旧一の宮小学校が統合され開校しました。開校初年度の入学児童は25名でした。しかし、37年目を迎える令和7年度の入学児童は、2名の予定です。今年度より2・3年生で複式学級となりました。そして、来年度は、1・2年生、3・4年生で複式学級となる見込みです。さらに、令和10年度では完全複式学級になると予想されています。

教育委員会の方針を聞き、とても残念に感じていますが、子どもの学習環境を鑑みますと仕方のないことなのかもしれません。素敵な校歌のフレーズを学校教育目標に掲げ、今年度そして来年度、西北台っ子の健やかな成長のためにチーム西北台で力を出し切ります。この後もご協力よろしく願います。